MAKE BEYOND
About Architect

大林組の建築職とは

生産・開発・研究など、多くの部門が団結して唯一無二の建築物を目指す

建築職は、生産・設計・研究・情報・原子力・開発・エンジニアリングなどの
さまざまな系統の業務に分かれ、プロジェクトを遂行。
国内外で社会貢献度の高い仕事に携わるとともに、
時代に合わせた新しい技術への挑戦を行っています。

各担当業務において、建築職が担う役割

営 業
工事情報の収集や受注案件の企画・戦略立案を行い、業務を受注します。プロジェクトマネジャーとして関係部門を束ねます。

営業支援
提案時に大きな要素となる工事費。設計図をもとに材料の数量などを算出し、適正な価格を導き出します。

新領域
再生可能エネルギー、PPP案件、農業分野などの新領域事業の情報収集・計画、また事業化後の維持運営も担います。

施工管理
施工現場の最前線で、関わる人やものを管理し、円滑なプロジェクト進行を実現。設計図から建造物をかたちにしていきます。

生産支援（技術）
生産技術、品質管理、BIMやCIMといったICTなどの側面から施工現場をサポート。業務改善など新しいワークスタイルにつながります。

生産支援（生産設計）
さまざまなノウハウや経験を活かして、設計者が描いた設計図をもとに、実際の施工図を描き起こします。

設 計
提案時の設計やプロジェクト進行時の支援などで、顧客の夢や社会への大きなインパクトを描き出します。

研究・開発
建設に関する新たな技術の研究や開発を行います。「技術の大林」を根幹で支え、未来を創造する役目を担います。

情 報
BIMを活用した生産システムの推進、先端ICTを活用した社内システム開発及び顧客建物へのICT提案・提供を行います。

原子力
原子力発電所に関する最先端技術の開発、発電所の設計、工事計画を行います。近年では、原子力技術の宇宙建築への展開にも挑戦しています。

都市開発
土地、街、人々のニーズをくみ取り、企画や事業スキームの構築、事業運営にいたるまで、街全体をプロデュースします。

エンジニアリング
専門的な技術を活用し、工場などの生産施設、再生可能エネルギー施設、ICTインフラ、土壌汚染対策などの計画から施工を行います。

建築職で活躍する職員の主な出身専攻

建築職は、入社後、必要な実務経験を積み、一級建築士の資格を取得することで、プロジェクト工程におけるさまざまな業務に携わることが可能となります。

建築系・建築環境系

都市工学系

“施工実績” から見る大林組の特徴

東京スカイツリー®

1 シンボルとなる建築に携わる
東京のランドマークである「東京スカイツリー」やスイマーの聖地とも呼ばれる「東京アクアティクスセンター」など街や時代の象徴となる建築に携わることができます。

大林組 技術研究所 テクノステーション

2 新しい技術に挑戦できる
国内初、人々の健康とウェルネスに焦点を合わせた建築物（Well認証済み）の建造にも挑戦。国内の他のゼネコンに先駆けた取り組みを積極的に行っています。

サンフランシスコ公益事業ビル

3 海外の大規模建築にも関わる
1964年のタイ事務所開設以来、50年以上にわたって海外展開を進めており、世界各国で、トンネルや発電施設、商業施設などの社会インフラの整備に貢献しています。

“研究開発” から見る大林組の特徴

自動品質検査システム

1 IT技術
米国の当社「Silicon Valley Venture & Laboratory」により、次世代の自動品質検査システムを開発。

3Dプリンターによるベンチ

2 自動化
3Dプリンターによる特殊モルタルで製造した型の内部に、超高強度繊維補強コンクリート「スリムクリート」を流し込む複合構造を開発。

高層純木造耐火建築物

3 木造
大林組の耐火木造技術「オメガウッド（耐火）」を用いた、日本初の高層純木造耐火建築物の建設。

宇宙エレベーター

4 宇宙
人や物資を経済的かつ大量に宇宙へ搬送するための宇宙エレベーター建設構想。総延長9.6万kmをつなぐエレベーターの建設を構想中。